

パトリステイカ

—— 教父研究 ——

巻頭言	宮本 久雄	3
【論文】		
Tempus et Aduerbum Temporale	加藤 武	5
古代の神像の脱魔術化 —エウセビオスの場合—	鐸木 道剛	21
三位一体における御父と御子の等しさ		
—アウグスティヌス『マクシムス批判』にもとづいて—	平野和歌子	42
陽の昇るところから沈むところまで		
—ビザンティン余白詩篇第四九(五〇)篇の重層的構造—	辻 絵理子	63
—二～一四世紀女性神秘家の〈実際のな叫び〉をめぐって—	後藤 里菜	84
【講演】		
シュネシオスと五世紀アレクサンドリアにおける夢解釈		
—神に近づくこととしての夢見—		
	ブロンウェン・ニール (土橋恵子 訳)	103
【解題】		
シュネシオスと夢解釈	土橋 茂樹	121
【宮本久雄先生退官記念号 特別エッセイ】		126
岩田靖夫／谷 隆一郎／大森正樹／鶴岡賀雄／出村和彦／土橋茂樹		
深井智朗／高橋英海／山本芳久／加藤愛美／袴田 渉／袴田 玲		
海老原晴香／坂田奈々絵／平松虹太郎		
【宮本久雄先生 経歴・研究業績一覧】		209
教父研究会活動報告		219
編集後記		220
『パトリステイカ』既刊号目次		(1)